

# 毎小学生新聞

きょうの紙面

- 疑問水解【液体ソーブの泡】……………2
- 連載小説『続・ぼくは、ラッキー・アイテム』……………3
- 鏡河教室【小惑星ベストへ】……………4
- サイエンス!【回転しているもの軸】……………5
- かがく雑学【日本人の遺伝子】……………6
- わくわく数の世界【1から誕生物語】……………7

毎日小学生新聞編集部  
 発行所 〒100-8051(住所不変)  
 お電話 03-3212-3274  
 ファクス 03-3212-2591  
 メール maishou@mainichi.co.jp

発行所 毎日新聞社◎  
 東京本社 東京都千代田区一ツ橋1-1-1  
 定価 1か月1430円(1部60円)

「僕のお父さんは東電の社員です」  
 手紙を送ってくれたのは、東京都に住む、ゆうだい君(仮名)。  
 3月27日の毎小に掲載された「N.E.W.S.の窓の記事」東電は人々のことを考えているかを読んだことが、手紙を書いたきっかけです。  
 この記事では、東京電力が福島第1原発の事故をおさめることに失敗し続けていることや、電力が不足するため、関東地方を中心に地域を分けて順番に電気を止める「計画停電」を行い、多くの人に不便な生活を強いていることを挙げて、東電の責任を追及しています。  
 ゆうだい君は、「たしかに、ほんとには真実です」と受け止めた上で、「こう反論します。」  
 ですが(記事の)最後の方に「危険もある原子力発電や、生活に欠かせない電気の供給をまかせていたこ

## 毎小編集部に手紙

4月上旬、毎小編集部に小学6年の男の子から一通の手紙が届きました。文面は、「突然ですが、僕のお父さんは東電(東京電力)の社員です」と始まります。そこには、福島第1原発の事故で、東電の役員として批判を浴びる父親の姿を自分の意見から、原発について考え続けた彼が見つづられていました。【小丸朋恵】



とが、本当はとも危険なことだったのかもれない」と書いてありました。そこが無責任なのです。  
 原子力発電所を造ったのは誰でしょうか。もちろん、東京電力です。では、原子力発電所を造るきっかけをつくったのは誰でしょうか。それは、日本人いや、世界中の人々です。中略発電所を増やさなければならぬのは、日本人が、夜遅くまでスーパーを開けたり、ゲームをしたり、無駄に電気を使ったからです。  
 そう考えていくと、原子力発電所を造ったのは、東電も含み、みんなであると言えます。(中略)みんなも無責任であるのです。  
 この手紙が書かれた3月末から、さらに1か月半がたちました。福島は、なにかいい案が生まれてくるはずです。  
 先日、ゆうだい君本人に会い、手紙を書いてくれた時の気持ちを聞きまし

た。手紙を書いたのは、3月27日の毎小を読んですぐ、それまで計画停電で学校や塾が早く終わりで、考える時間がたくさんあったので、数時間で一気に手紙を書き上げたそうです。ゆうだい君は、「自分とは違う意見を聞けば、さらに考えが深まります。今は、いろいろな意見交換ができる場所が必要です」と話していました。  
 (手紙は2面に紹介しています)

原発は必要なのか、いらぬのか、必要であれば、誰が管理してどこに置くのか。いらぬのであれば、エネルギー不足にどう対処するのか。クラスの友だちや家族と話し合ってみてください。そして、ゆうだい君の意見を読んで考えたことを、編集部の手紙で送ってください。紙面で紹介します。  
 【手紙の宛先】  
 〒100-8051  
 毎日小学生新聞  
 「ゆうだい君への手紙」係